

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 一般国道402号 新潟海岸バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 新潟県
起終点 自：新潟県新潟市五十嵐三の町 至：新潟県新潟市有明		延長 9.0km
事業概要 一般国道402号は、新潟県柏崎市を起点とし新潟県新潟市に至る日本海沿岸の幹線道路である。新潟海岸バイパスは、幅員狭小の現道を迂回し交通混雑の解消を図り、また新潟中心市街地へのアクセスを改善することにより、広域ネットワークの形成、都市機能向上の支援及び日常生活圏の連携強化を図る。		
昭和59年度事業化	昭和58年度都市計画決定	昭和59年度用地着手
昭和62年度工事着手		
全体事業費	約140億円	事業進捗率 77%
計画交通量	6,000台/日	供用済延長 5.5km
費用便益比 B/C	(事業全体) 1.4 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 28/54 億円 (事業費：24/50 億円 維持管理費：4/4 億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 77/77 億円 (走行時間短縮便益：70/70 億円 走行費用減少便益：5/5 億円 交通事故減少便益：2/2 億円)
		基準年 平成15年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり）		
他9項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 新潟市は新潟海岸バイパスの早期整備・供用を望んでいる。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は概ね終了し、5.5kmを暫定2車供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 新川漁業協同組合等との協議も完了し橋梁工にも着手したことから今後の事業促進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p>The map shows the project route (L=9.0km) starting from Niigata City 50-Asan 3-chome and ending at Niigata City Ariake. Key features include the Niigata Bridge (L=225.0m) and the 50-Asan 2-chome I-C Bridge (L=38.0m). It also shows existing roads like the 50-Asan 2-chome 1st line and Sakai 50-Asan 1-chome line, and the current road status (供用中, 事業中, 再評価箇所, うち供用中).</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。